



平成23年1月7日

各位

上場会社名 株式会社メディアクリエイト
 代表者 代表取締役社長 加藤 博彦
 (コード番号 2451)
 問合せ先責任者 専務取締役 齊藤 哲明
 (TEL 055-929-8560)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年7月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,922	10	3	△30	△5.82
今回発表予想(B)	1,772	△80	△88	△32	△6.21
増減額(B-A)	△150	△90	△91	△2	
増減率(%)	△7.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年5月期第2四半期)	1,850	△24	△24	△51	△9.96

平成23年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,870	65	50	10	1.94
今回発表予想(B)	3,517	△17	△37	0	0.00
増減額(B-A)	△353	△82	△87	△10	
増減率(%)	△9.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年5月期)	3,646	△55	△58	△52	△10.15

修正の理由

(1)当第2四半期累計期間業績修正の理由

売上高につきましては、余暇産業・外食産業における個人消費の低迷の影響により、新規出店店舗の立上げの遅れ及び各種販売促進施策などによりお客様単価が想定額を下回ったため、前回予想から150百万円下回ることとなりました。利益につきましては、売上高の計画未達により、新規出店、店舗改装等の初期費用を補うことができず、営業損失80百万円、経常損失88百万円となる見込みであります。また、TSUTAYA店舗売却益の計上及び繰延税金資産の変動等により、四半期純損失32百万円となる見込みであります。

(2)下期及び通期の見通し

下期につきましては、売上高は景気の先行きの不透明感及び競争環境の厳しさは依然として続き、計画を下回ると予想しておりますが、一方、営業利益及び経常利益は経費削減効果により黒字化を見込んでおります。その結果、通期の見通しにつきましては、売上高は前回予想を353百万円下回る3,517百万円、営業損失17百万円、経常損失37百万円、当期純利益0百万円を見込んでおります。当社といたしましては、店舗運営力、競争力の強化を重点課題とし、その課題解決へ向けての対策を講じ、収益性の向上に努めて参ります。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上